

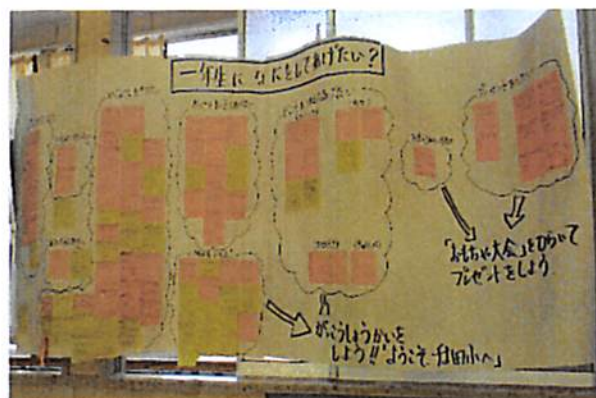
令和3年度

印旛地区教育研究集会

生活科分科会 提案資料

研究主題

協働し交流する活動を通し、気づきの質を高める生活科



第一部会 佐倉市立千代田小学校 貝渕 寛枝  
布留川 春香

## 目次

1	研究主題	2
2	主題設定の理由	2
3	研究仮説	4
4	研究の構造図	6
5	授業実践例	
	令和3年度 第2学年実践	8
	令和3年度 第1学年実践	17
	令和2年度 第1学年実践（参考）	24
6	成果と課題	30

参考資料「小学校指導要領解説 生活編」 文部科学省

「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 生活」

文部科学省国立教育政策研究所

# 1 研究主題

協働し交流する活動を通し，気付きの質を高める生活科

## 2 主題設定の理由

### (1) 今日的な教育課題より

社会の国際化は私たちに多様性をもたらし、また、急速な情報化や技術革新は人間生活を質的に変化させている。予測できない未来に対応するために、社会の変化に受け身で対処するのではなく、膨大な情報から何が重要かを主体的に判断し、自ら課題を見つけてその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を生み出していくことが求められる。つまり、これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現していく力が必要である。明るい未来を、共に創れる児童を育成していきたい。

学校の場合においては、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」が重視されている。1つ1つの知識がつながり、わかったと思える授業や見通しをもって粘り強く取り組む力が身に付く授業や周りの人と共に考え、学び、新しい考えや豊かな発想が生まれる授業、自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業が必要とされている。そういう社会の中で、生活科において具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わり、多様な見方・考え方を取り入れ、生かし、自立して生活を豊かにしていくための資質・能力を育成することをめざしたいと考えた。

### (2) 学習指導要領より

「新しい学習指導要領等が目指す姿」（文部科学省）の中で、改訂の視点は、「子供たちが『何を知っているか』だけではなく、『知っていることを使ってどのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか』ということであり、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力や人間性など情意・態度等に関わるものの全てを、いかに総合的に育てていくかということである。」とされている。改訂が目指す育成すべき資質・能力を育むためには、学びの量とともに、質や深まりが重要である。子供たちが「どのように学ぶか」についても光を当てる必要があるとの認識のもと、課題の発見・解決に向けた「協働的な学び」を重視していきたい。

生活科の目標として、生活科を通して育成することを目指す資質・能力は次の3つが挙げられる。

①活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。

(知識及び技能の基礎)

②身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。

(思考力、判断力、表現力等の基礎)

③身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

(学びに向かう力、人間性等)

これらを意識しながら、協働し交流する活動を工夫して、気付きの質を高めるような生活科指導をしていきたいと考えた。

### (3) 学校教育目標より

本校では「気づき・考え・行動する千代田っ子の育成」を学校教育目標として掲げている。

#### <めざす児童像>

- |         |                              |
|---------|------------------------------|
| ○かしこい子  | 課題に気づき、進んで考え判断し、表現する子        |
| ○やさしい子  | 周りの状況に気づき、相手の立場になって考え、助けられる子 |
| ○たくましい子 | 健康や安全、体力向上について気を配り、考え、行動できる子 |

これらは、教育活動全体の中で豊かな人間性を育て、自分の力で思考・判断し進んで行動できる児童の育成をめざしたものである。児童が自ら考え、行動するには、正しく判断することが大切である。そのためには、自己の考えだけではなく、他者の様々な考えを聞き判断することが求められる。友達の考えに触れて他者の思いや願いを知ることや自己の思いや願いを振り返ることを生活科でも取り入れ、研究に取り組んでいきたい。他者との交流を通して、友達と情報を共有しながら色々な考えの共通点や相違点を見出し、共感したり考えを統合したりして、気付きの質を高めることのできる児童の育成を図っていく。

### (4) 児童の実態

本校の児童は明るく素直な子どもが多い。外国籍の児童が年々増える傾向があり、多様な文化や価値観を認め合い尊重し合うことが求められている。学力面は平均的であるが、個々の能力差が大きい。学習場面では、「～したい」「～をやりたい」という思いはあるが、活動するだけで満足してしまい、活動から気付いたことを自らの考えとして積極的に発表できる児童は一部である。これまで、友達同士で意見を交換し、自分と違う他者の考えを認め合うことは学んできている。しかし、友達の考えと自分の考えを比較しながら質の高い気付きを生み出すような活発な意見を交換し合うところまでは至っていない。そこで、日々の生活科の授業の改善とともに、児童がより豊かな対話を通して深い学びができるような手立てを模索することとした。

以上の4つのことから、本研究主題を設定した。

### 3 研究仮説

#### 仮説1

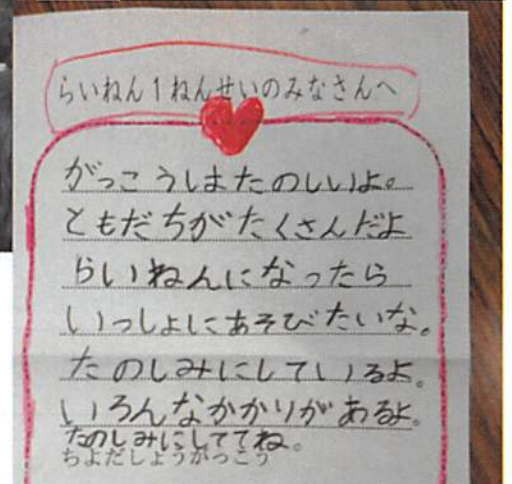
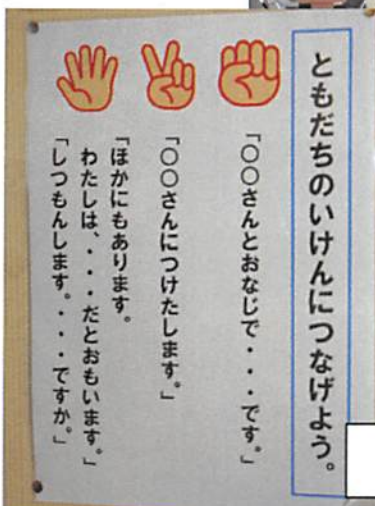
他者と協働し、伝え合う活動の場を工夫して設定すれば、豊かな対話のある学びができ、気づきの質が高まるだろう。

まず、児童の思いや願いを受けて、交流する活動の場を設定する。この活動の場では交流する場を工夫することで、協働し伝え合う必要性が生まれ、対話的な学習となるだろう。

一部の児童だけでなく、全員が活動し、関わり合うことで、気づきの質が高まると考える。

<具体的な手立て>

- ①児童の意識調査
- ②対話の話型の掲示
- ③ハンドサインの活用
- ④他学年との交流学習
- ⑤地域の幼稚園児との交流



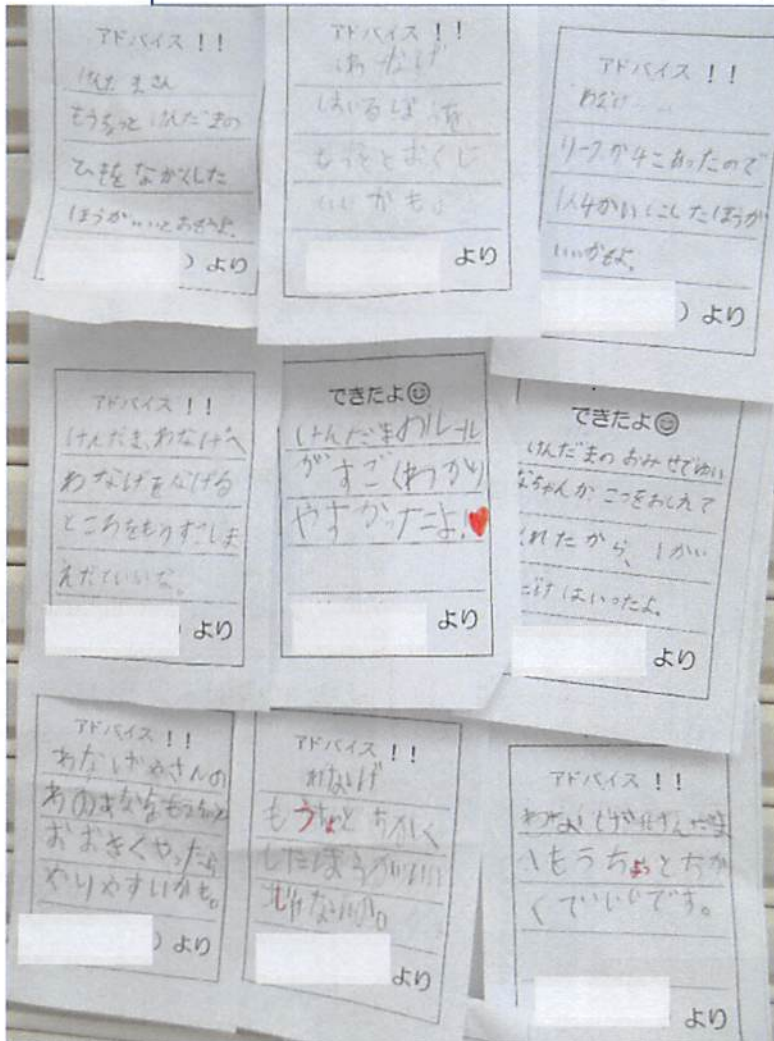
## 仮説2

一人一人が気付いたことを伝え合い、関係付ける活動をすれば、新たな気づき生まれ、気づきの質が高まるだろう。

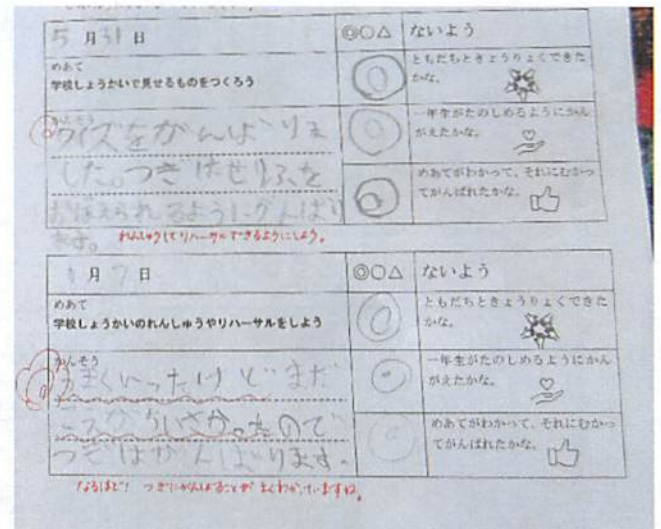
体験活動を行い、まずは一人一人がそれぞれの気づきをもつことができるようにする。自分の気づきを表現することを継続することで、気づきの質を高めていく。他者の気づきと比較したり関係付けたりする活動をし、全員で共有する。双方向生のある活動を行い、対象とやりとりをする中で、感じたり考えたりして、新たな気づきを見つけ、深い学びとなっていくだろうと考える。

### <具体的な手立て>

- ①個に応じた手立て、声かけ
- ②発問の工夫
- ③ワークシートの工夫
- ④振り返りカードの工夫
- ⑤考えを伝え合う場と方法の工夫
- ⑥グループ学習



### ④振り返りカードの工夫



### ⑤考えを伝え合う場と方法の工夫

## 4 研究の構造図

〈1年〉

主題「協働し交流する活動を通し、気づきの質を高める生活科  
めざす児童像「対話的で深い学びを実現する児童」

仮説1 他者と協働し、伝え合う活動の場を工夫して設定すれば、豊かな対話のある学びができ、気づきの質が高まるだろう。

体験活動  
協働・交流

「もうすぐ2年生」  
6年生とお別れ会  
来年度1年生のため

・・・お礼をしたいな  
・・・来年もがんばりたい  
・・・新1年生を喜ばせたい

「ふゆとなかよし」  
昔遊び 地域交流

・・・うまくなりたいな  
・・・どうやったらいいかな  
・・・みんなにも教えたいな

「あきとなかよし」  
あきまつり

・・・2年生みたいになりたいな  
・・・どんなあそびができるかな  
・・・落ち葉で何が作れるかな  
・・・みんなで遊びたいな

「みんななかよし」  
「なつとなかよし」  
同学年・他学年交流

・・・学校をもっと知りたいな  
・・・どうやったらできるかな  
・・・もっといろいろな人とかかわりたいな  
・・・もっと他の学年の子とあそびたいな

表現活動  
伝え合い・対話

仮説2 一人一人が気付いたことを伝え合い、関係付ける活動をすれば、新たな気づきが生まれ、気づきの質が高まるだろう。

〈2年〉

主題「協働し交流する活動を通し、気づきの質を高める生活科  
めざす児童像「対話的で深い学びを実現する児童」

仮説1 他者と協働し、伝え合う活動の場を工夫して設定すれば、豊かな対話のある学びができ、気づきの質が高まるだろう。

体験活動  
協働・交流

「自分ほっけん」  
他学年・学校職員との交流

・・・自分のことを知りたいな  
・・・みんなにお礼をしたいな  
・・・来年もがんばりたいな

「つくるたのしさほっけん」  
1年生との交流

・・・どんなあそびができるかな  
・・・どうやったらいいかな  
・・・1年生にも教えたいな

「わたしの町ほっけん」  
地域の人との交流

・・・どんなあそびができるかな  
・・・みんなで遊びたいな  
・・・1年生とあそびたいな

「春ほっけん」  
「ようこそ、千よ田小へ」  
「生きものはっけん」

・・・学校について教えたいな  
・・・どうやったらできるかな  
・・・1年生が楽しめるようにしたいな  
・・・花ややさいを大きくそだてて食べたいな

表現活動  
伝え合い・対話

仮説2 一人一人が気付いたことを伝え合い、関係付ける活動をすれば、新たな気づき生まれ、気づきの質が高まるだろう。



## 5 授業実践例（令和3年度 第2学年）

1 単元名 どんな2年生になろうかな 「ようこそ、千よ田小へ」

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、生活科学習指導要領の学年の目標（2）、内容（1）（8）（9）

目標（2）身近な人々、社会及び自然とふれ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。

内容（1）学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えることができ、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとする。

（8）自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとする。

（9）自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かるとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活しようとする。

に基づいて設定したものである。

本単元では、1年生に学校を紹介する活動を通して、1年生と交流するよさがわかり、達成感や成就感を感じさせ学びに向かう力を培わせるものである。

また、活動の中で、「まだ1年生にはこれがわからないのだな。」「自分は、こんなことができるようになってるな。」のように、自分の成長への気付きを獲得することができる単元である。

(2) 児童の実態

児童は、1年次に緊急事態宣言を受け、入学式の後にすぐに約2か月の休校になった。その後も、他学年との交流や学校探検を感染症予防のためにできないまま、2年生に進級した。しかし、できる範囲での交流は行っており、これまで、幼稚園生に、秋の木の実で作った作品をプレゼントしたり、お礼の手紙をもらったり、アサガオの種を新1年生にプレゼントしたりしてきた。進級した嬉しさを感じるとともに、1年生が入ってくることによっていろいろなことを教えてあげたいという意欲が高まっているときである。また、感染症予防のためのリモートで6年生を送る会や1年生を迎える会を終え、リモートでの行事に慣れてきたところでもある。この機会に友達や教員と距離を保ちながらも、学校についてより深く知り、1年生に学校紹介をすることで、自分の成長に気付かせたい。活動の中で、伝え合う活動を通して人と関わることのよさや楽しさも味わわせていきたい。

### (3) 指導観

導入では、どんな2年生になりたいか話し合う中で、それを実現させるために何をしたらいいか、話し合わせる。対話的な意見の交流を通し、計画を立てて主体的な学習を促していきたい。そうすることで、2年生になった児童は、これまでよりもよりよい自分をめざすだろう。1年生が入学してきたことによって自分が年上になる自覚をもち意欲的に生活している時期である。1年生に何かしてあげたいという思いや願いを大切に、年間を通しての計画を立てられるようにしたい。

活動は、感染症予防のため、リモートで学校紹介を行うことを目標に、児童同士で話し合い、伝えたいことを選んで伝達できるようにする。また、いろいろな学校の特別教室を紹介するために調べたり、資料をつくったりする活動の中で、互いの意見を交流できるようにしたい。

研究主題の「協働し交流する活動を通し、気付きの質を高める生活科」を達成できるように、振り返る活動を大切に、気付きの質を高め、深い学びが実現できるようにしていきたいと考える。

### 3 単元目標

○1年生とかかわる活動を通して、どうしたら1年生を楽しませられるかを考えることができ、自分も周りの支えがあって進級できたことに気付くことができる。

(知識及び技能の基礎)

○どのようにしたら1年生を楽しませることができるか考え、学校の施設や先生について、伝えたいことや、伝え方を選ぶことができる。

(思考力、判断力、表現力等の基礎)

○自分自身の思いや願いをもって、進んで1年生と交流しようとする。

(学びに向かう力、人間性等)

### 4 仮説との関わり

#### 仮説1

他者と協働し、伝え合う活動の場を工夫して設定すれば、豊かな対話のある学びができ、気付きの質が高まるだろう。

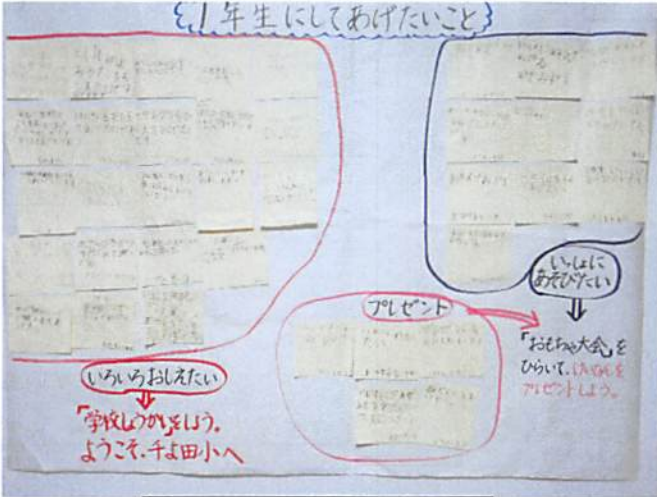
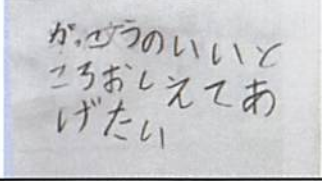
自分たちの小学校の教室や先生を1年生に向けて紹介する場を設定することで、よりよい紹介の仕方をめざして児童がお互いに考えを伝え合ったり、紹介をすることによって感想をもらった対話のある学びができるだろう。そして、その対話によって気付きが生まれ、交流することで、気付きを深めることができるだろうと考えた。

#### 仮説2

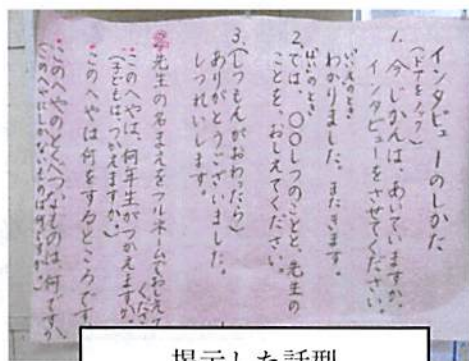
一人一人が気付いたことを伝え合い、関係付ける活動をすれば、新たな気付きが生まれ、気付きの質が高まるだろう。

学校紹介を行う中で、気付いたことを伝え合い振り返る活動をする中で、まとめたり比較したりすることで、自分達のできたことや成長に気付くことができるだろう。また、毎時間振り返る活動を行うことで、気付きを深めていくことができるだろうと考えた。

5 指導と評価の様子（10時間扱い）

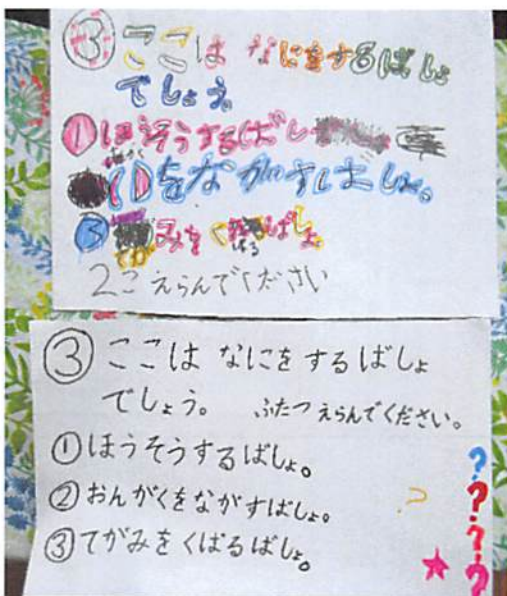
時配	学習活動 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">仮説との関わり</div>	評価規準（評価の観点） 【評価方法】
<p>1</p> <p>2</p>	<p>どんな2年生になろうかな 「ようこそ、千よ田小へ」</p> <p>・どんな2年生になりたいか考え、1年生にしてあげたいことを考える。</p> <p>・学校紹介をする計画を立て、グループにわかる。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">付箋をまとめたもの</div>	<p>・小学校について、1年生に伝えたいことがたくさんあることに気付いている。（知・技）【付箋】</p> <p><u>手立て①：児童の意識調査〈仮説1〉</u></p> <p><u>手立て③：ハンドサインの活用</u> <u>〈仮説1〉</u></p> <p><u>手立て②：発問の工夫〈仮説2〉</u></p> <p>・自分たちが1年生のときのことを思い出している。 （思・判・表）【発言】</p> <p>・自分の思いや願いをもって、学習の計画を立てようとしている。 （態度）【振り返りカード】</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 10px;">児童が書いた付箋</div>
<p>仮説1：児童が「1年生にしてあげたいこと」を付箋に書かせ、思いや願いを吸い上げた。児童の思いや願いを話し合う際には、ハンドサインを活用し、全員が思いを表すことができるようにした。それをもとに、1年間の学習計画を立てることで、学習への見通しをもち、児童が興味のある伝え合う活動の場を設定することができた。</p> <p>仮説2：自分が1年生の時にしてもらって嬉しかったことや、1年生の時にはできなかったことを想起させ、「1年生にしてあげたいこと」を考えるように発問した。児童が自分の成長に気付きながら、自分のできることで新たに「1年生にしてあげたいこと」を考えることができた。</p>		

3 ・グループごとに特別教室について調べる。



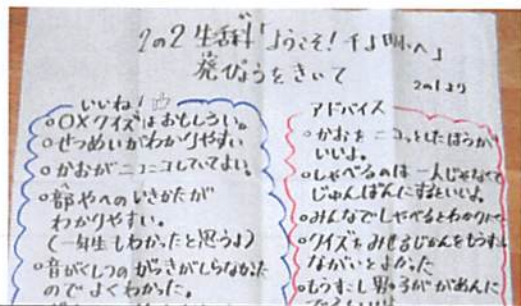
揭示した話型

4 ・グループごとに調べたことをまとめ、紹介の準備をする。  
5 ・他グループとリハーサルを見合い、助言し合ってよりよい紹介をめざす。



アドバイスカードをもとに書き直した資料

6 ・紹介ビデオを作成する。  
7 ・リモート「ようこそ、千よ田小へ」の会のリハーサルをする。



リハーサルを見た2年1組から2組への助言

手立て⑥：グループ学習〈仮説2〉

手立て②：対話の話型の揭示

〈仮説1〉

- ・1年生に伝えたいことを伝える方法に気付いている。(知・技)  
【行動観察・学校紹介資料】
- ・どのようにしたら1年生を楽しませることができるか考え、準備をしている。(思・判・表)【行動観察】

手立て⑤：考えを伝え合う場と方法

の工夫〈仮説2〉

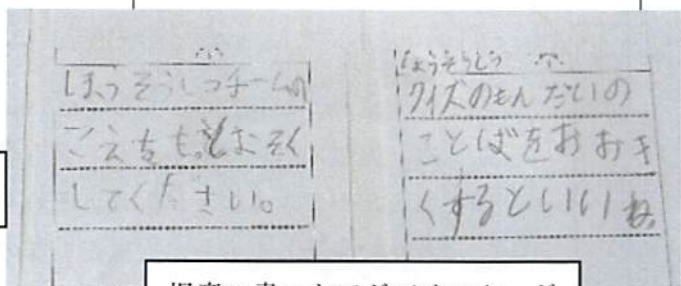
- ・グループの友達の意見を尊重しながら、発見したことを伝えようとしている。(態度)【振り返りカード】

手立て④：振り返りカードの工夫

〈仮説2〉

手立て①：個に応じた手立て、声かけ

〈仮説2〉



児童の書いたアドバイスカード

	<p>仮説1：対話の話型の揭示をすることで、学校内の先生方へのインタビューの仕方がわかり、発表の仕方もわかってグループで練習して実践することができていた。</p> <p>仮説2：グループを作り、特別教室について調べ、紹介するようにしたこと、それぞれのグループがよりよい紹介をめざして、どのような発表にするか、(ビデオで紹介する内容、クイズの内容など)発表の仕方はよいか、新たな気付きを生むことができていた。振り返りカードを毎時間書かせることで、各自の学習の様子がわかり、個々への助言・声かけをすることができた。</p>	
<p>8 9 本時           10</p>	<p>・リモートで「ようこそ、千よ田小へ」の会を行う。 2年1組 2年2組</p> <p>・振り返りを行う。</p>	<p><u>手立て④：他学年との交流学习</u> <u>〈仮説1〉</u></p> <p>・1年生に学校紹介することで、自分の成長に気付いている。 (知・技)【振り返りカード】</p> <p><u>手立て④：振り返りカードの工夫</u> <u>〈仮説2〉</u></p> <p>・学校の特別教室について、1年生に工夫して伝えている。 (思・判・表)【学校紹介資料】</p> <p>・1年生を楽しませたいという思いや願いをもって、1年生にわかりやすく伝えようとしている。 (態度)【発言・行動観察】</p> <p>・学習全体を振り返ることで、自分の成長に気付いている。(知・技) 【まとめの振り返りカード】</p> <p><u>手立て③：ワークシートの工夫</u> <u>〈仮説2〉</u></p>
	<p>仮説1：1年生とリモートであるが交流することで、伝えるということを意識して、活動することができていた。また、1年生の反応や感想を一生懸命聞き、聞こえたらまたこちらが返信する、という努力をし、豊かな対話につながる活動が行えた。</p> <p>仮説2：毎時間書く振り返りカードを活用することで、達成感を感じたり、自分ができたことに気付いたりすることができていた。また、学習全体を振り返り、感想を書かせ、それを伝え合ったことで、新しい気付きを見つけ、自分の気付きを深めることができていた。</p>	

6 本時の指導の様子（9 / 10）

(1) 評価規準

学校の特別教室について、1年生に工夫して伝えている。

(思考力, 判断力, 表現力)

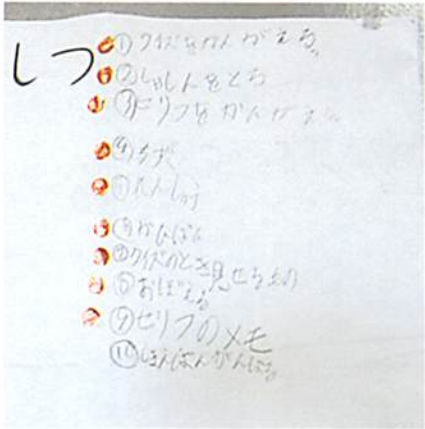
1年生を楽しませたいという思いや願いをもって、1年生にわかりやすく伝えようとしている。

(主体的に学習に取り組む態度)

(2) 仮説との関わり

リモート学習で、1年生に学校のことを伝える活動を通して、1年生に感想をもらうことで新たな気づきや対話が生まれ気づきの質が高まるだろう。つまり、感想を相互に交流することで、自分たちが伝えたかったことが伝わったかどうか考えたり、自分たちの成長に気付いたりすることができるだろうと考えた。また、振り返りカードを継続して活用することで、自分達の成長に気づき、その気づきの質を高めることができるだろうと考えた。

(3) 展開

時配 (分)	学習内容と活動	○指導・支援 ◎評価	資料
※40 分授業	※感染症対策のため、全授業時間が40分である。		
2	<p>【見出す】</p> <p>1 本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>「ようこそ、千よ田小へ」の会をひらこう。</p> </div>	<p>○これまでの学習を振り返り、今日のめあてを意識して活動できるようにする。</p>	
35	<p>【広げ深める】</p> <p>2 学校紹介をビデオや写真を使ったりクイズをしたりして、リモートで行い、感想をもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長室グループ</li> <li>・職員室グループ</li> <li>・音楽室グループ</li> </ul>	<p>○感染症予防を配慮し、リモートで学校紹介を行う。「Teams」を用いる。</p> <p>○1年生に感想をもらったり、クイズに答えてもらったりして、自分たちの伝えたかったことが伝わったか確認する。 (仮説1)</p>	<p>各グループの計画表</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>大型テレビ, 教師用パソコン, カメラ</p>

- ・図工室グループ
- ・放送室グループ
- ・図書室グループ

音楽室のことがよくわかったと言われてうれしいな。

音楽室のことがよくわかりました。



2年生の紹介が上手でした。

緊張したけど、大きな声で言えてよかったな。

手立て④：他学年との交流学習

〈仮説1〉

◎学校の特別教室について、1年生に工夫して伝えている。

(思考力, 判断力, 表現力等)

**【行動観察】**

- 伝えることが苦手な児童には、伝えたい内容をあらかじめ把握しておき、一緒に紹介できるようにする。
- 学校紹介をしていないときは、「いいねカード」に、他グループの紹介のよかったところを記入するようにする。

いいねカード

いいね!

ほろろこしつみの

いろいろ

なものかいあるの

かよくわかりました

いいね!

ほろろこしつ

ほろろこしつ

さきやすがたて

す。

3

**【まとめあげる】**

3 めあてを振り返る。

計画表を見ながら、できたことを振り返る。

○これまでの振り返りカードに追記する形で、学習の振り返りができるようにする。 (仮説2)

○どのような思いや願いをもって学習に取り組んだかを振り返るよう助言する。

手立て④：振り返りカードの工夫

〈仮説2〉

各グループの計画表  
振り返りカード

1年生がクイズで楽しそ  
うでよかった。

◎1年生を楽しませたいという思い  
や願いをもって、1年生にわかりや  
すく伝えようとしているか。

(学びに向かう力、人間性等)

【振り返りカード】

○振り返ることが難しい児童には、で  
きていたことを伝え、友達が書いた  
「いいねカード」を見せて、自信が  
もてるようにする。

1年生がわかりやすいように  
大きな声で話したよ。

7 成果 (○) と課題 (▲)

○導入でこれまでの計画を振り返ったことで、1年生のために1年生がわかるように紹介しようという  
意欲をもって学習に臨んでいた。

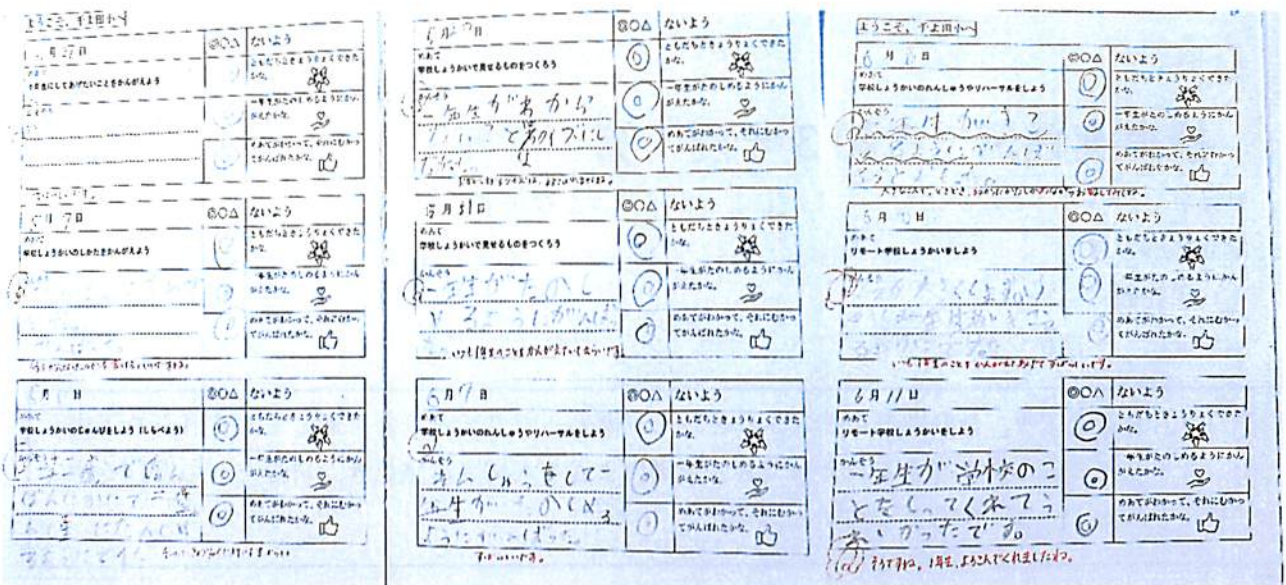
○振り返りを積み重ねていったことで、児童が自分の成長に気づき、学習が主体的に進められた。

日付	◎○△	ないよう
4月2日	◎○△	ないよう
5月7日	◎○△	ないよう
5月11日	◎○△	ないよう
5月27日	◎○△	ないよう
6月7日	◎○△	ないよう
6月8日	◎○△	ないよう
6月10日	◎○△	ないよう
6月11日	◎○△	ないよう

学習が進むにつれて、主体的に活動できている児童 (A児) の振り返りカード

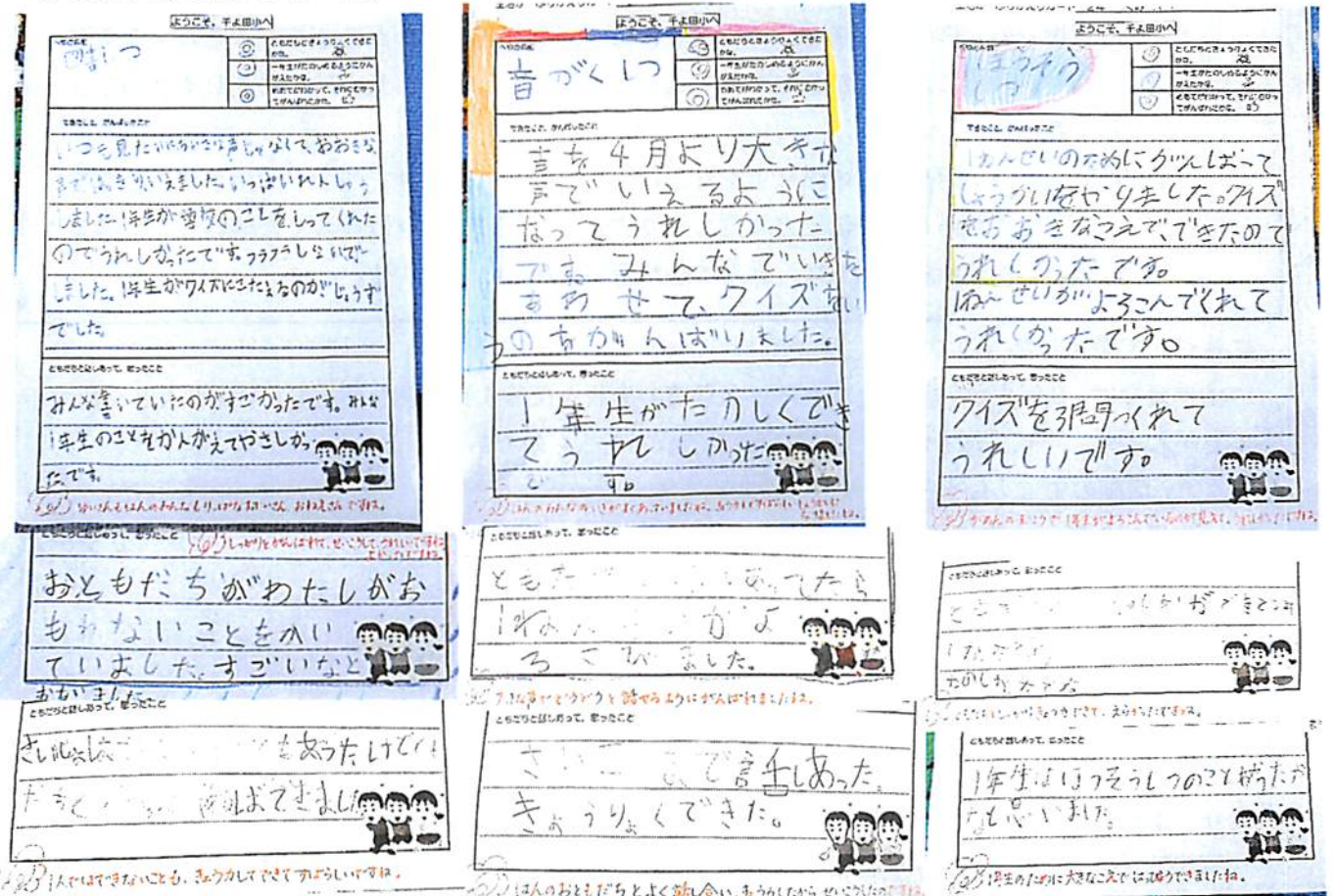
○1年生に伝える工夫が生かされ、1年生の反応がよいことで、紹介がうまくいったことがわかり、1年  
生と関わることの良さを感じていた。





学校紹介をする相手である1年生をずっと意識して活動できた児童（B児）の振り返りカード

- 学習のまとめの振り返りカードでは、25人全員が自分の成長に気付くことができていた。
- 友達と意見を交流させることで、新たな気付きを見つけられた児童が多くいた。友達と関わることの良いさを感じた児童が多くいた。



- ▲時間が足りず、毎時間の振り返りカードには記入できない児童が数名おり、学習全体のまとめのカードで、振り返らせるようにした。
- ▲紹介した内容について、感想をもらい、それに対して感想を言える児童もいたが、さらにより豊かな対話をさせるためには、繰り返しこのような場を設ける必要があると感じた。